

### 海外からの輸入感染症をどう防ぐ・・・

国際化社会を反映して、1年間に海外渡航をする日本人が1,600万人を超え、外国から来航する船舶や航空機を介してコレラや赤痢といった感染症だけでなく、近年海外で問題となっているSARSやエボラ出血熱、ウエストナイル熱等の感染症の国内侵入の水際での防止の対応が重要になってきています。



#### ① 検疫ではどのような対策がとられているのでしょうか？

国民の健康保持のため国内に常在しない感染症の病原体が、船舶又は航空機を介して国内に侵入することを最大限防止することを目的に、発見時には隔離、停留、消毒等の防疫措置を行うとともに、捕獲された媒介動物についても病原体の有無の検査を行っています。

(参考) 成田空港における検疫・検査実績

年次	機数(機)	搭乗者数	有症者数	血液採取検査件数	感染症検出件数	
					マラリア	デング熱
平成20年	87,964	17,245,615	20,353	180	1	3

【航空機】 【船舶】



#### ② 当院に来院した時は・・・

感染症疾患の中でも、1、2類感染症は指定医療機関の対応ですが、それ以外は一般病院での対応となります。

##### ※発熱時の対応

- ① 標準予防策を行う。
- ② 咳嗽が著明であれば、患者はサージカルマスク、医療従事者はN95マスクを装着する。また状況に応じてSARSマニュアルに準じ、医療相談室で診察を行う。



##### ※下痢時の対応

- ① 一般診察室で診察を行い、標準予防策及び接触予防策で対応する。
- ② 診察・検査を行い、検査結果が出るまで自宅待機もしくは病状に合わせて入院にて経過観察する。

\* 検査オーダー時に、「〇〇へ渡航歴あり」と医師にコメント入力を依頼し、細菌検査室へ電話連絡を入れる。

\* 自宅での生活については、別紙参照。  
外来マニュアル参照

#### ③ 海外に旅行するとき何に気をつける？

旅行先での病気の多くが、食べ物・水からうつります。

##### ① 手洗いをこまめにしましょう

必ず石鹸で洗い、きれいな水が使用できない場合はアルコールジェルを使用することを考えましょう。

##### ② 生水を飲まないようにしましょう

ボトル入りの水が最も安全です。蓋部分をシールで覆ってあるものを選びましょう。蓋があいている場合、詰め替えてある場合もあります。



##### ③ 氷を避けるようにしましょう

氷は生水から作られている可能性があります。

##### ④ 歯磨きうがいに使用する水にも注意しましょう

##### ⑤ 完全に火の通った食べ物を食べてください

完全に火がとおっているものを湯気がたっているうちに食べましょう。調理済みの料理を何時間も室温に置いておくことも、微生物を増殖させ、食べ物を通した感染の原因になります。

##### ⑥ サラダや生の野菜は避けましょう

野菜類は生水を用いて処理されている可能性があります。野菜やフルーツなどは、自分で皮をむいて用意できるもの以外は避けましょう。